

1. 全国学力・学習状況調査とは

次の3つのことを目的として、全国一斉に行う調査です。

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査方法や内容については、小学校6年生を対象に国語と算数、中学校3年生を対象に国語と数学について、「身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等」と「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容」を一体的に問う問題で実施する。また、質問紙調査（学習意欲や生活の諸側面等に関する質問）を実施する。

2. 調査結果から

<教科に関する調査結果より> 【良好であると分析される内容】 (小学校) 国語「自分の考えが伝わるように表現を工夫する力」 算数「数量関係を、□を用いた式に表す力」 「道のりと時間の関係について考察する力」 (中学校) 国語「行書の特徴を理解する力」 「短歌の内容について、描写を基に捉えることができる力」 数学「統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明する力」	【課題であると分析される内容】 (小学校) 国語「人物像を具体的に想像する力」 「漢字を文の中で正しく使う力」 算数「表から必要な数値を読み取って式に表し、式を基にして判断する力」 (中学校) 国語「文脈に即して漢字を正しく書く力」 「文の成分の順序や照応について理解する力」 数学「数量を、文字を用いた式で表す力」 「等式を目的に応じて変形する力」	<児童生徒質問紙に関する調査結果より> 【良好であると分析される項目】 (小・中学校) 朝食を毎日食べていますか (小・中学校) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか (小・中学校) 人が困っているときは進んで助けていますか (小・中学校) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか (中学校) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか 【これから伸ばしたい項目】 (小・中学校) 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、ICT機器を勉強のために使っていますか (小学校) 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
--	--	---

3. 今後の取組について

上記の結果を踏まえ、以下のことに努めていきます。

- ◇七宗町が取り組んでいる「基礎学力定着事業」を継続して取り組み、「授業の充実」「学習習慣の定着」「生活習慣の定着」の3本柱について、学校と町教育委員会が一丸となって実践を重ね、深めていく。
- ◇学校(保育園)・家庭・地域が連携して、L S S (Life Study Support)を推進し、「生活・学習・支援」づくりを通じて、子どもたちを育てていく。
- ◇「一人一台タブレット」を活用した授業実践(デジタル教科書の活用)や家庭学習(持ち帰りタブレット)に組み込み、子どもたちの主体的な学びを充実させていく。